平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名　マーチャント・バンカーズ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3121　URL　http://www.mbkworld.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼COO　(氏名) 古川　令治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長　(氏名) 宮毛　忠相　TEL 03-3502-4910

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,858	6.6	△105	―	△124	―	△46	―
24年3月期第2四半期	1,743	△17.1	△235	―	△289	―	△333	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△64百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△378百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△2.08	―
24年3月期第2四半期	△14.99	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	4,791	2,766	57.2	123.50
24年3月期	5,104	2,880	55.9	128.41

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　2,741百万円　24年3月期　2,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	2.00	2.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,509	25.9	49	―	24	―	78	―	3.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	22,615,056 株	24年3月期	22,615,056 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	412,963 株	24年3月期	412,870 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	22,202,145 株	24年3月期2Q	22,219,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、提出日現在において当社グループが判断したものであります。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（以下「当第２四半期」）の我が国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあります。先行きについては、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、世界経済の動向や円高の長期化による下振れリスクが存在しております。

当社の主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場は、欧州経済危機の影響、中国等新興市場の成長ピッチの鈍化傾向などから、依然として先行きが不透明な状況にあります。国内のホテル・レジャー市場は、一時の急激な落ち込みから立ち直ったものの、デフレの影響による単価下落、ビジネス需要の低迷などにより厳しい状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当第２四半期の当社グループは、投資回収活動、新規投資案件の発掘、前年に落ち込んだオペレーション事業の業績の立て直し、並びに太陽光発電関連事業の進捗などに注力してまいりました。

当第２四半期の業績につきましては、震災の影響等による落ち込みがあった前年同期から損失幅が縮小し、売上高1,858百万円（前年同期比6.6％増）、営業損失105百万円（前年同期は営業損失235百万円）、経常損失124百万円（前年同期は経常損失289百万円）、四半期純損失46百万円（前年同期は四半期純損失333百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。

（マーチャント・バンキング事業）

当社グループは、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第２四半期は、国内上場株式の売却による収入173百万円があり前年同月比増収となったものの、当該売却による回収益８百万円、不動産賃貸による収益45百万円のほか目立った収益がなく、営業投資有価証券の減損27百万円並びに部門固定費を補えず、売上高332百万円（前年同期比208.9％増）、セグメント損失14百万円（前年同期はセグメント利益４百万円）となりました。

また、新規事業である太陽光発電関連事業については、９月25日付で、太陽光発電所（メガソーラー）の用地確保のための土地賃貸借契約を締結いたしました。現在、提携先である旭テクノプラント株式会社（岡山県倉敷市）、SINOSOL AG（ドイツ）とともに、今期中の運転開始を目指し、取り組みを進めております。

（オペレーション事業）

当社グループは、当事業部門におきまして、宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、給食業務の受託などを行っております。

当第２四半期は、事業所数の減少に伴い減収となったものの、事業所全般に業績改善が見られ前年同期の大幅に赤字から黒字転換し、売上高1,395百万円（前年同期比14.7％減）、セグメント利益23百万円（前年同期はセグメント損失125百万円）となりました。

なお、当第２四半期連結会計期間において以下の通り事業所の異動がありました。

①７月１日付で「加古川プラザホテル」（兵庫県加古川市）を運営する株式会社ホテルシステム二十一の全株式を取得し、新たに連結子会社としたことから、同ホテルが収益貢献を開始しております。

②７月１日付で「ホテルグランディ宮崎」（宮崎県宮崎市）及び「大分アリストンホテル」（大分県大分市）を事業譲渡いたしました。これに伴い特別利益として事業譲渡益101百万円を計上しております。

③９月25日付で「ヴィラ北軽井沢エルウィング」（群馬県吾妻郡）に関する事業を、分社化の上、譲渡いたしました。これに伴い特別損失として事業譲渡損29百万円を計上しております。

（マニュファクチュアリング事業）

当社グループは、連結子会社である旭工業株式会社（東京都青梅市）において、食品製造機械の製造、販売を行っております。

当第２四半期は、本年７月に納品が完了した受注製品の生産に注力し、大きな売上がなかったことから、売上高130百万円、セグメント損失22百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資　産）

当第２四半期末の総資産は、前期末と比べ312百万円減の4,791百万円となりました。主な増減理由は、保有国債の満期償還、国内上場株式の売却等による営業投資有価証券の減少410百万円、株式会社ホテルシステム二十一の株式取得に伴うのれん計上額の純増287百万円、事業所の撤退に伴う敷金及び保証金の減少118百万円などであります。

（負　債）

負債は、前期末と比べ198百万円減の2,025百万円となりました。主な増減理由は、短期借入金の減少80百万円、「ヴィラ北軽井沢エルウィング」の譲渡による長期預り敷金保証金の減少110百万円などであります。

（純資産）

純資産は、前期末と比べ114百万円減の2,766百万円となり、自己資本比率は57.2％となりました。主な増減理由は、四半期純損失の計上46百万円、配当による剰余金の減少44百万円、その他有価証券評価差額金の減少18百万円などであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間における実績を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年５月15日に公表しました平成25年３月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳しくは本日別途公表しております「平成25年３月期第２四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（連結納税制度の適用）

第１四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,441	611,345
受取手形及び売掛金	136,376	160,254
営業投資有価証券	757,369	347,334
販売用不動産	214,432	120,444
商品及び製品	5,603	4,720
仕掛品	15,958	14,694
原材料及び貯蔵品	33,679	32,238
預け金	170,895	162,194
その他	177,041	103,854
貸倒引当金	△360	△441
流動資産合計	2,183,437	1,556,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,065,082	1,173,271
土地	1,391,672	1,413,541
その他（純額）	106,234	80,928
減損損失累計額	△302,085	△270,727
有形固定資産合計	2,260,903	2,397,013
無形固定資産		
のれん	131,470	418,759
その他	10,140	2,007
無形固定資産合計	141,610	420,766
投資その他の資産		
投資有価証券	79,204	99,340
敷金及び保証金	268,144	149,386
その他	174,864	172,215
貸倒引当金	△4,136	△3,733
投資その他の資産合計	518,076	417,208
固定資産合計	2,920,591	3,234,989
資産合計	5,104,029	4,791,628

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,531	123,882
短期借入金	170,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	126,096	118,296
未払費用	157,626	148,165
賞与引当金	―	9,510
その他	295,811	316,594
流動負債合計	860,065	806,447
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	475,004	462,506
長期預り敷金保証金	213,422	102,793
退職給付引当金	32,500	32,500
役員退職慰労引当金	11,600	11,600
その他	30,457	9,199
固定負債合計	1,362,984	1,218,598
負債合計	2,223,049	2,025,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	264,909	174,347
自己株式	△83,258	△83,266
株主資本合計	2,968,233	2,877,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117,193	△135,774
その他の包括利益累計額合計	△117,193	△135,774
新株予約権	29,939	24,693
純資産合計	2,880,979	2,766,582
負債純資産合計	5,104,029	4,791,628

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	1,743,242	1,858,953
売上原価	637,159	791,611
売上総利益	1,106,082	1,067,342
販売費及び一般管理費	1,341,471	1,172,798
営業損失（△）	△235,388	△105,456
営業外収益		
受取利息	1,241	1,322
その他	3,394	4,240
営業外収益合計	4,635	5,562
営業外費用		
支払利息	1,293	6,828
社債利息	7,264	7,264
為替差損	49,340	10,538
その他	694	212
営業外費用合計	58,592	24,843
経常損失（△）	△289,345	△124,737
特別利益		
事業譲渡益	－	101,302
新株予約権戻入益	13,670	6,605
その他	1,938	18,826
特別利益合計	15,609	126,733
特別損失		
事業整理損	43,815	8,578
事業譲渡損	－	29,116
その他	－	1,020
特別損失合計	43,815	38,715
税金等調整前四半期純損失（△）	△317,551	△36,719
法人税、住民税及び事業税	15,374	12,207
法人税等調整額	105	△2,769
法人税等合計	15,479	9,438
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△333,030	△46,157
四半期純損失（△）	△333,030	△46,157

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△333,030	△46,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,080	△18,580
その他の包括利益合計	△45,080	△18,580
四半期包括利益	△378,110	△64,738
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△378,110	△64,738
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計（千円）	調整額（注）１．	四半期連結損益計算書計上額（注）２．
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業（注）３．	マニュファクチュアリング事業（注）４．			
売上高						
外部顧客への売上高	107,744	1,635,497	－	1,743,242	－	1,743,242
セグメント間の内部売上高または振替高	－	－	－	－	－	－
計	107,744	1,635,497	－	1,743,242	－	1,743,242
セグメント利益又は損失（△）	4,096	△125,010	－	△120,913	△114,474	△235,388

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△114,474千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

３．「オペレーション事業」は、前第２四半期連結累計期間における「ホスピタリティ＆ウェルネス事業」を名称変更したものであります。

４．マニュファクチュアリング事業は、当該事業を営む新規連結会社のみなし取得日を第２四半期連結会計期間末日としたため売上高及び利益又は損失の金額に関する情報はありません。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

マニュファクチュアリング事業において、旭工業株式会社の株式取得により、当第２四半期連結累計期間に同社の超過収益力によるのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は146,077千円であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計（千円）	調整額（注）１．	四半期連結損益計算書計上額（注）２．
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業	マニュファクチュアリング事業			
売上高						
外部顧客への売上高	332,768	1,395,827	130,358	1,858,953	－	1,858,953
セグメント間の内部売上高または振替高	－	－	－	－	－	－
計	332,768	1,395,827	130,358	1,858,953	－	1,858,953
セグメント利益又は損失（△）	△14,492	23,134	△22,940	△14,297	△91,158	△105,456

（注）１．セグメント利益の調整額△91,158千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

オペレーション事業において、株式会社ホテルシステム二十一の株式取得により、当第２四半期連結累計期間に同社の超過収益力によるのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は307,386千円であります。